

2023年12月20日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
14017 (従来システム 6368)	トリプシン/ラテックス凝集比濁法

トリプシンは膵臓から分泌される蛋白分解酵素です。膵臓以外の臓器に存在しないため膵特異性が高く、血中トリプシンは膵臓の炎症や膵管閉塞、膵外分泌機能などの指標となり、膵疾患の診断や経過観察などに利用されています。

また、血中では α 1アンチトリプシンなどの蛋白分解酵素阻害因子と結合して酵素活性を有しない複合体として存在するため、酵素活性は測定できず、蛋白量が測定されます。

この度、検査精度向上を目的として、ラテックス凝集比濁法での受託を開始いたします。

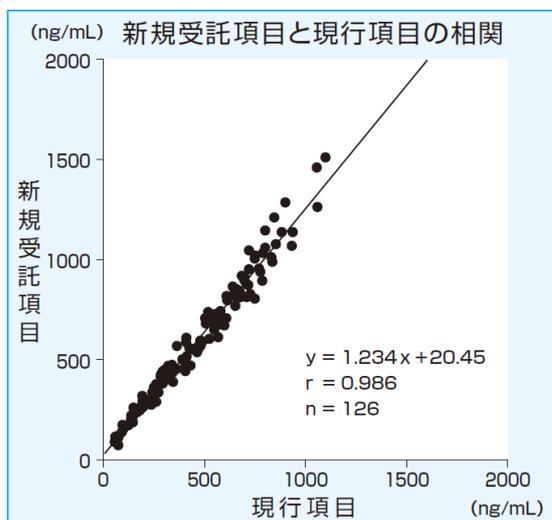
【開始時期】2024年3月1日（金）ご依頼分より

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のトリプシン/EIA法（コード No.00553（従来システム 582））は2024年3月29日（金）ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

【受託要領】

	新規受託項目	ご参考:現行項目
コード No.	14017 (従来システム 6368)	00553 (従来システム 582)
検査項目名	トリプシン	同左
検体量	血清 0.5mL	同左
採取容器	B (汎用容器(分離剤入り))	同左
保存方法	冷蔵	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	EIA法
基準範囲	210~570	100~550
単位	ng/mL	同左
所要日数	3~4日	2~4日
報告範囲	30未満~最終値	50未満~最終値
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	189点 / 生化学的検査(I) 144点	同左

< 相関図 (ご参考) >



(委託先検討資料)

《検査方法の参考文献》

植田進之介, 他: 医学と薬学 77(12), 1659~1668, 2020.

以上